

合資会社 協和ランドリー えどや

人と環境に優しい クリーニングにこだわる

鹿角市にあるクリーニング店「えどや」。ここでは県内では珍しい、純せっけんを使用したクリーニングが行われている。



きっかけは、手荒れの悩み

鹿角地域振興局向かいに店舗兼工場・コインランドリーをもつ、「えどや」こと協和ランドリーは、純せっけんを使用し、安全と品質を追求するクリーニング店。「今の時代は家庭でも業務用でも、安くて手軽な合成洗剤を使うのが主流。しかし、石油を主原料にした合成洗剤は体の油分を奪って乾燥肌の原因になり、水質汚染にもつながる。その点、人類が5,000年以上使い続けてきた体にも環境にも優しい純せっけんは、仕上がりもふっくら」と田中喜昭社長は笑顔を見せる。

純せっけんを使うようになったきっかけは、田中社長自身の経験から。仕事柄、合成洗剤による手荒れに悩まされていた。そこで、肌に優しい洗剤を探した結果、出会ったのが純せっけんであり、肌荒れの原因になる合成界面活性剤の力に頼らず、微生物の働きで抗酸化作用を高める「EMクリーニング」という技術であった。

安全への徹底したこだわり

そこで人と環境に優しいクリーニングへの追究が始まった。まずは、軟水器を設置し、洗濯に使う水を全て軟水に。水からミネラル分などを除去することで、純石けんの泡立ち力、つまりは洗浄力を高めた。また、洗濯のりは、化学のりをやめて昔ながらの「煮のり」を使用。衣類

の痛みやごわごわ感を軽減した。ドライクリーニングのドライ溶剤も、石油系を使わず、化粧品などに使用される肌に優しい成分「シリコン」を使用。わざわざアメリカに出向き、探し抜いた。シリコンはコスト的には割高だが、安全性とふっくら柔らかい仕上がりに「お客さまが喜んでくれたら」と話す。「家庭では手軽さから合成洗剤を使うことが多い。だから、せめて当店にお出しいただいた衣類や布団などは、小さなお子さんや肌の弱い人でも安心な素材で洗ってあげたい」

品質向上に最新マシンを導入

隣接するコインランドリーでも使う洗剤も純せっけん。工場から出るボイラーの廃熱を乾燥室に循環させるなど、エコロジーも追究している。

さらに品質にもこだわる。平成22年には、当センターの設備貸与制度を利用してYシャツプレス機を導入。仕上がりの美しさと着心地の良さを向上させた。「設備の相談はもちろん、経営のことについて幅広く相談できるので頼りになる。秋田市に出掛けるときには必ずと言っていいほど、活性化センターに顔を出している」と話す。①



設備貸与で導入したYシャツプレス機。両袖をピンと伸ばし、蒸気を出しながらプレス。パリッと美しい仕上がりになる。



軟水での洗濯は、洗剤（純せっけん）の泡立ちが良いため、業務用洗濯機（田中社長の背後に写る機械）でも、少量の洗剤で充分汚れが落ちる。



古くは「江戸屋」の屋号で、造り酒屋や宮大工だった時代がある。田中社長は8代目。社長就任の際、かつての屋号「えどや」を復活させた。

合資会社 協和ランドリー えどや

【本店】〒018-5201
秋田県鹿角市花輪字下花輪170
Tel.0186-23-2503

【工場】〒018-5201
秋田県鹿角市花輪字六月田27-1
Tel.0186-30-1107